

タイトル

授乳期における母親の乳房サイズについて  
ー乳頭・乳首・乳輪・乳房周囲の計測ー

ピジョン株式会社 中央研究所

平田 尚子、石丸 あき、斉藤 哲

### 【目的】

授乳婦に関する研究として、母乳成分や授乳時の乳房トラブルなど、実践面に関する研究例が多い。本研究においては、実践面とは別の側面として、授乳期の乳房の各部位（乳頭・乳首・乳輪・乳房周囲）のサイズ測定を行い、形態的特徴を抽出することを目的とした。

### 【対象と方法】

対象：1.6±0.9 ヶ月（8.9±3.5 週）の児を持つ母親 71 人で、全員が完全母乳育児を行っていた。方法：メジャーテープで、乳房周囲（アンダーサイズ・トップサイズ）、デジタルノギスで乳頭径ヨコ/タテ、乳首長さ、乳輪径ヨコ/タテを測定した。

### 【結果】

背景情報として、年齢：31.5±4.2 歳（平均±標準偏差）、身長：158.9±5.1cm、体重：52.9±5.8kg であった。乳房サイズデータについて、アンダーサイズ：74.7±5.0 cm、トップサイズ：89.6±6.1 cm であった。右乳房は、乳頭径ヨコ：13.1±2.3mm、乳頭径タテ：14.7±2.2mm、乳首長さ：9.1±2.1mm、乳輪径ヨコ：42.4±8.6mm、乳輪径タテ：43.9±11.2mm、左乳房も順に、13.8±2.2mm、14.5±2.0mm、9.7±2.3mm、44.2±8.9mm、46.0±10.8mm であった。

### 【結語】

今後、乳房各部位同士の相関や背景情報との関連性について、詳しく検討していく予定である。